

科目名	日本の文化と社会3		科目ナンバー			
担当者 (実務経験名)	日本語教員 小野 綾子					
履修期	1年 後期			卒業単位	選択 2単位	
免許・資格	(文部科学省)登録日本語教員免許					
授業概要	現代の日本社会が直面するテーマ(環境、防災、多文化共生、ジェンダーなど)について学び、考え、意見を交換する。グループ活動や発表を通じて、日本語での表現力をさらに高める。					
到達目標	知識・理解	日本の現代的な社会課題について基礎的な知識を得る。				
	思考・判断	学んだ内容をもとに、自分の考えをまとめ、判断することができる。				
	興味・意欲・態度	学んだ内容をもとに、自分の考えをまとめ、判断することができる。				
	技能・表現	学んだ内容をもとに、自分の考えをまとめ、判断することができる。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)
	1	オリエンテーション:Ⅲの学び方と目標		事前の音読、テーマについての課題、事後レポート		4時間
	2	日本の人口と社会(少子高齢化をやさしく)		事前の音読、テーマについての課題、事後レポート		4時間
	3	環境問題(ごみ分別・リサイクル)		事前の音読、テーマについての課題、事後レポート		4時間
	4	地域社会とボランティア活動		事前の音読、テーマについての課題、事後レポート		4時間
	5	多文化共生(外国人と日本人の生活)		事前の音読、テーマについての課題、事後レポート		4時間
	6	男女平等と働き方の変化		事前の音読、テーマについての課題、事後レポート		4時間
	7	日本の政治と選挙(基礎的な仕組み)		事前の音読、テーマについての課題、事後レポート		4時間
	8	災害と防災(地震・台風・避難)		事前の音読、テーマについての課題、事後レポート		4時間
	9	観光と国際交流(オリンピック・万博)		事前の音読、テーマについての課題、事後レポート		4時間
	10	日本のポップカルチャー(音楽・ファッション)		事前の音読、テーマについての課題、事後レポート		4時間
	11	科学と技術(新幹線・ロボット・AI)		事前の音読、テーマについての課題、事後レポート		4時間
	12	学生によるディスカッション①(テーマ選び)		テーマについての課題、事後レポート		4時間
	13	学生によるディスカッション②(意見交換)		テーマについての課題、事後レポート		4時間
	14	学生による最終発表(グループ研究発表)		テーマについての課題、事後レポート		4時間
	15	まとめとふりかえり		テーマについての課題、事後レポート		4時間
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	15	15		15	45
	課題	15	15		15	45
	実技					
	受講状況・態度			10		10
	その他()					
フィードバックの方法	毎授業の開始時に、前授業のレポートについてフィードバックを実施する。					
教科書						
参考書						
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、プレゼンテーション、フィールドワーク					
ICT活用						
メッセージ・備考	各授業のテーマに沿った課題及びレポート作成にて成績評価を行う。事前課題(3点×15回)、事後レポート(3点×15回)。また、授業へ取り組む態度を評価する(10点)。					
関連科目						